



第48号令和6年3月発行
社会福祉法人財團済生会
宮城県済生会みやぎ乳児院
富谷市成田 8 丁目 4-6
TEL 022【351】5215

<https://miyagi-saiseikai.com/nyujiin/>

宮城県済生会みやぎ乳児院 施設長 遠藤清之



皆さま、こんにちは、いかがお過ごしでしょうか。

令和5年度も早いもので残すところ僅かとなってまいりました。皆様には年度末の折、何かとお忙しいことと思います。

今年度は、新施設への移転、そして新施設での子どもたちとの生活が始まっております。小規模グループケアに移行したての頃は、職員数も充足しておらず、慣れない部屋で子どもたちとの生活に入り、また、子どもたちも落ち着かずに騒々しく過ごしてきました。それでも、手前味噌かもしれませんが、職員の皆さんは協力し合い、子どもたちをよくフォローし、2ヶ月もするとすっかり子どもたちも落ち着いてきました。大人も含めた環境は大事です。

さて、年が明けてから若干コロナウィルス感染やインフルエンザ感染が増加してきておりますが、2月には、アンパンマンミュージアムに外出しました。退所の時期に来ている子どももおり、バスや地下鉄に初めて乗ってみました。みんな緊張の面持ちだったようです。今年度も多くの子どもたちが、乳児院から旅立つことになりそうです。お父さん・お母さん、里親さんの所やお姉さんたちの施設へと行先はさまざまですが、我々も、しっかりと準備を手伝い、幸せへの願いを込めて送り出してあげたいと思っております。

I 理念

済生会創設の精神のもとに、児童を取り巻く社会情勢の変化に柔軟に対応し、子どもが大人に守られ、大切にされ、安心して生活できる開かれた安全な養育環境を整え、入所児童の生命と人権を守り、健やかな成長を支援する。

II 基本方針

【保育目標】 素直で、明るく、優しい、健康な子の育成

- ・子どもの個性を尊重し、その人権を守り、最善の利益を追求します。
- ・子どもの発達段階に応じた生活習慣等の確立を支援します。
- ・子どもとの愛着関係を育み、豊かな感性を育てます。
- ・子どもの気持ちをくみ取り、また意見を聞きながら自立を支援します。
- ・子どもの成長を喜び、再出発(家族再統合、里親養育等)を支援します。
- ・職員は、子どもとの関係性を常に重視し、向上心、探求心を持ち、柔軟に子どもたちを支援します。



竹 節分



鬼が怖かったようですが、「鬼は外！」と泣きながらも豆まきをしました。最後には仲直りして一緒に写真撮影しました。



鬼さんみつけた！



ここにも鬼がいるよ！
カレーライス美味しそう♪



今年の節分行事は、新施設初。各ホームに鬼がやってきました。どこか来るのかな？と思っている間に、「ピンポン」と音が鳴り、みんなで出向くと赤鬼、青鬼の登場。大泣きしながらも「鬼は外！」とボールを投げて、やっつけた後は鬼と記念写真を撮りました。昼食は鬼カレーライスを美味しく頂きました。一年の無病息災を願い、元気いっぱいの笑顔をたくさん見せてくれることと思います。



バレンタイン



チョコペンでお絵描き
おしくなあれ～！

ひなまつり



アンパンマンミュージアムに行ったよ！



初めて路線バスと地下鉄に乗りました。不安そうな子もいましたが、沢山のバスを見て「バスいっぱい！」喜ぶ子どもの姿も見られました。



ハンドルを握って・・・
アンパンマン号を運転中



アンパンマン発見！
一緒に撮ったよ



パンを作るよ！
おいしくなあれ～！



バイキンマンの
秘密基地。
だだだだん発進！

アンパンマンショーを見ました。いつもテレビで見ていたので、アンパンマンたちと一緒に「1, 2, 3！」と、とても上手に踊っていました。ミュージアムには様々な所にアンパンマンもいて、遊び場があったので、子どもたちは時間までたくさん遊ぶことができました。

雪遊び



雪が降った次の日、外には沢山雪が積もっていました。子どもたちはスノースーツと帽子、手袋を身に付けて外に出ると、雪を見て「いっぱい！」「ゆきこんこん」と大はしゃぎ！今年に入り、初めて雪遊びができてとても嬉しそうでした。さっそく雪に触れ、雪の上に寝転がるなど、楽しそうに遊ぶ子どもたちの姿が見られました。皆で雪を集め、子どもたちの身長と同じくらい大きな雪だるまを作りました。寒さにも冷たい雪にも負けず元気いっぱいに遊ぶことができました。

大きくなってきたよ！
雪だるま作れるかな？



雪いっぱい！
何ができるかな？



ホームだより～1年を振り返って

なのはな・たんぽぽホーム

去年の9月に新施設に移動し、現在0歳児6名、1歳児2名で毎日賑やかに過ごしています。12月に小さな赤ちゃん達を迎え、なのはなホームは毎日元気な泣き声が響いています。ミルクをたくさん飲み、保育者になっこり笑顔を見せてくれています。たんぽぽホームは、寝返りから伝い歩きまで一人一人の成長に驚きと喜びを感じています。これからも毎日楽しく元気に過ごしてほしいと思います。

さくらホーム

沢山歩いたり、おしゃべりが上手になったり...日々できることが増えていくさくらホームのお友達。施設の移転という大きな変化があった今年度は子どもも大人も不安と緊張でいっぱいの毎日でしたが、そんな中でも子ども達はぐんぐん成長していき、可愛らしい笑顔を沢山見せてくれました。来年度はどんな素敵なお兄さん、お姉さんに成長していくのかとても楽しみです！

ちゅうりっぷホーム

男の子2名、女の子3名でスタートしたちゅうりっぷホーム。新しいおうちに慣れてからは、お部屋の中でも元気いっぱい。いつも大きな声が響いています。特にちゅうりっぷホームさんは身体を使った遊びが大好き！お庭やお散歩にいつも出掛けています。引っ越ししてきた当初は上手に乗れなかった三輪車も今は自由自在に移動できるようになりました。お喋りも上手になり毎日できることが増えてみんなの成長に驚かされる毎日です。

ゆりホーム

10月から新たなメンバーでスタートしたゆりホームは現在女の子1名、男の子4名、計5名の個性溢れるメンバーとなっています。お互いに関わって遊べるゆりホームさんですが、時にはケンカに発展したり、静かだなどと思っていると一致団結してイタズラしている事も多々あり目が離せません。私たち職員も子どもの成長を温かく見守りながら一緒に成長していけたらと心より願っています。

ひまわりホーム

大きな窓で開放感たっぷりのひまわりホーム。お部屋にはキレイな朝日が差し込み、おひさまとともに子どもたちの一日が始まります。女の子2名、男の子3名の5名の子どもたちは、時にはケンカもするけれど...3歳の男の子をリーダーに、好奇心いっぱい、元気いっぱい楽しく過ごしています。もっともっといろんな経験を重ねて、ひま

令和5年度のまんまる最終号です。今年度は引っ越し等バタバタと続いていましたが、子ども達も慣れ、新しい環境で楽しく過ごせています。新年度も楽しく、元気いっぱいな子どもたちの姿を沢山届けていきたいと思います！